

# JAしまねびより

2018

3

March Vol.24

特集 島根のいいもの再発見!! 「大田市 石見銀山和牛」 石見銀山地区本部



Naomichi  
直

JALまね やすぎ地区本部版

島根には誇れる農産品がたーつくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー！



## 【大田市 石見銀山和牛】

3月は、石見銀山地区本部。大田市三瓶町で「石見銀山和牛」生産で放牧を取り入れながら、繁殖から肥育まで一貫経営している川村拓朗さんにお話しをお伺いしてきました。



放牧を通して三瓶山の自然と共に歩む、ワイルドでたくましい川村さん。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

### 和牛の生産をはじめてどのくらいになりますか？

和牛の本格的な生産は両親の代からはじまりました。私は大学を卒業して研修した後、24才の時から就農して、今年で15年目になります。現在は繁殖牛が約100頭おり、育成と肥育牛も合わせると300頭弱を飼育。年間60〜70頭ほどの肥育牛を出荷しています。現在は両親に代わり、現場作業は私がおもに担当、従業員1人とパートタイマーを雇用しています。

### 放牧を用いた飼育はどのようになっていますか？

4月中旬から12月初旬まで、三瓶山の東の原、西の原など3カ所で繁殖牛を放牧しています。牛には山で草を自由に食べさせ、寒くなると徐々に草の残る山麓に向かって移動します。そのまま自然の中で子どもを産ませ、1ヶ月経った頃に牛舎に連れて帰ります。年間で約70〜80頭の子牛が誕生し、その中から発育状況や血統を加味しながら、生後8ヶ

月齢で肥育素牛と繁殖素牛とに選別します。肥育素牛は更に約20ヶ月太らせて肥育牛として出荷します。繁殖素牛は、放牧に適するよう再び三瓶山麓で伸び伸びと育てます。



生まれて約1ヶ月は母牛と共に放牧。まずは母乳で育て、牛舎に入れるというのが川村流。

### 放牧のメリット、デメリットは何ですか？

三瓶では古くから農耕用として牛が飼われていました。その後、繁殖用としての牛の飼育がはじまり、多い時には2,000頭以上飼われていた時期もあったと言われています。放牧といっても三瓶山の麓にある放牧場だけでも面積が約100ヘクタールと広大です。多くの手間を考えると、すべての牛を生舎で管理

する方が作業効率をはるかに良いので、父の代では私の牧場だけ、三瓶山で放牧するスタイルが残りました。ただ三瓶山はなだらか過ぎず、急峻過ぎず、適度な傾斜で牛が移動し、運動するには大変適している場所です。運動量が多いので、足腰が強く健康で頑強な牛が育ちます。

広大な土地で目当ての牛を捕まえるのは簡単ではありません。夏場には牛は塩分を欲しがるので、昔は、たくあんを腰にぶら下げて牛を呼び、牛が舐めている間に首輪をかけて連れて帰っていました。現在は鉾塩という固い塩のかたまりを置いておき、牛が熱中症などにならないように塩分を補給し、エサなどで牛を誘導しています。

### 牛を飼っていて大変なこととは何ですか？

冬場は、すべての牛を牛舎で育てるのでエサやり、糞出しなどの作業が一気に増えます。何よりも難しいのは、観察・管理です。牛の性格も人と一緒に気の弱い強い、せつ



寒さが厳しく、雪深い冬の時期には、牛舎にて管理されます。

がち、のんびり屋、臆病など様々です。性格や状態をよく観察し「風邪を引いていないか」「ちゃんと食べているけど、ビタミン類や微量要素の過不足はないか」など、1頭1頭の状態を常に見極め、食の細かい牛にはエサの量を増やし、水分補給や飼料調整、ビタミン注入など適切な処置や管理をしています。この観察管理が大変な反面、一番牛飼いで面白い部分かもしれません。自分が思い描いているストーリーで、1頭の牛が生まれてきて、観察を欠かさず管理しながら大事に育て、良い霜降のお肉が生産された時には、これまでの苦労が報われた瞬間で嬉しい限りです。



牛舎に入ると、川村さんのことを待ちかねたかのように、一言にこっちを見て迎えてくれました。

### 今後の抱負や展望を聞かせてください。

石見銀山地区本部、肥育部会では、地域資源を生かした大田市生まれ大田市育ちの「石見銀山和牛」のブランド化を進めています。その中

でも川村牧場では、放牧と徹底した管理による美味しい肉質には自信があり、繁殖・肥育ともに牛を絶やさないようにしていきたいです。将来的には従業員を5人に増やしたいと考えています。規模を拡大するから人を増やすのではなく、働く人を増やしたいから規模を拡大するという考えです。大田市は働く場所の絶対数が都市部に比べて少ないので、若年者が大田市に残り、きちんと働いて稼いでいける環境づくりの1翼を、少しでも担えればと考えています。

## 石見銀山和牛 一口メモ

「石見銀山和牛ブランド推進協議会」は平成23年、大田市、JA石見銀山（当時）、繁殖・肥育農家ら関係機関が中心となり設立。石見銀山遺跡のネームバリューを活用した肉用牛の振興を図るため、ブランド化を図っている。大田市で生まれ育った肉用牛をブランド牛として認定し、おもにJAグリーンおおだの店頭で販売。ふるさと納税でも大田市の特産品として採用され、高評価を獲得。現在は、協議会が中心となり、肉の流通量と販売チャネルの両方を増やすための努力を続けており、認知度向上を図っている。



牛を中心に、三瓶山への思い、地域の思いを語る川村さんの姿がとても印象的でした。



# JALしまね総合ポイントカード おさいふカードを 作りませんか!

**会員  
募集中**

どなたでも簡単につくって、県内JA施設、店舗でご利用いただけます。  
JALしまねはおさいふカードを通じて、地域の活性化に貢献します。



## ポイント貯まる・使える

### 貯まったポイントは

- JA店舗・Aコープなどで使える、お買物券と交換していただけます
- カタログ商品と交換していただけますカタログはJA各支店にご用意しております
- ラピタなどでの買い物代金として1ポイント1円でご利用いただけます



**会員優待特典**  
カード提示により特別割引価格となります。

**全品 10%OFF**  
優待店舗は順次拡大中

洋服の青山 **はるやま**

## 組合員にご加入頂きますと、お得にポイントが貯まります。

JALしまねは総合ポイントカードで、地域の皆さまの暮らしの応援をしています。  
昨年度の会員は18万名で、2億500万ポイントをご利用いただきました。

雲南

## 新たな取り組み「雪下野菜」 来年度から本格始動

雲南地区本部は昨年8月から豪雪地帯である島根県飯南町で「雪下野菜」の栽培に着手しています。農家の冬期収入源、そして「南限の雪下野菜生産地」として観光資源にも生かしていく考えです。

2月20日から3月10日頃まで出雲市にあるイオンスタイル出雲で販売。営農指導に携わる高橋英次職員は「今回は試験的な意味合いもあり、売り場やお客さんの反応を見つつ、農家の皆さんとも協議したうえで来年度は本格的に進めていきたい」と新たな取り組みに期待しています。

以前から雪の下でキャベツを栽培しており、新たにニンジンと縮みホウレンソウを始めた同町の早船浩さん(84)は「今年は気温が低い日が続く、雪が解けず大変。雪が減ったタイミングなどで出荷し、皆さんに喜んでもらえれば」と話しました。



雪の下から縮みホウレンソウを収穫する早船さん

隠岐

## 果樹の剪定講習会を開催

隠岐地区本部は2月16日、隠岐の島町有木地区の森口光春さん所有の果樹園で果樹の剪定講習会を開催しました。果樹生産者、関係者等20人が参加し、隠岐支庁農林局の指導のもと、主要な果樹剪定の概略(主な果樹の結果習性)についての説明を受けた後、実際に柿、栗やイチジクの木を使って剪定方法を学びました。

出席者は、剪定をする際の注意点などを書き留めたりして、見事に選定されていく果樹を感心した様子で見学していました。

その後、参加者は剪定ばさみやのこぎりを握り、学んだことを活かしながら、柿と栗の剪定を行いました。

隠岐は梨やリンゴ、柑橘類など果樹全般何でも栽培できる土地柄とされています。今後もこのような研修会を定期的で開催し、生産者や部会の会員増につなげ、果樹の地産地消にも積極的に取り組んでまいります。



くにびき

## 「出荷奨励抽選キャンペーン」を実施！ 米出荷者を対象に計60人が当選

くにびき地区本部はこのほど、米の出荷者を対象とした「出荷奨励抽選キャンペーン」を実施し、応募者1,690人から合計60人の当選者を決めました。当選者にはJA商品券を贈呈します。

抽選会は、米生産者の出荷を促すことが目的。前年11月末までの出荷量実績に基づき、出荷袋数の多い出荷者を対象にした「大口賞」(商品券2万円分)、全出荷者が対象の「だんだん賞」(商品券5千円分)をそれぞれ選出します。

当日は、田中鈴木副本部長、中村隆富農経済部長、山根敏行米穀畜産課長が抽選箱からくじを引き、大口賞20人、だんだん賞40人を決定しました。

当選者の発表につきましては、商品の発送をもって替えさせていただきます。



くじを引く山根課長、田中副本部長、中村部長(左から)

やすぎ

## 農産加工品フェアを開催

2月3日、安来市飯島町にあるグリーンセンターはしま店で農産加工品フェアが開催されました。同フェアは「やすぎ地域地産地消プロジェクト」の一環として、安来地域の地産地消拡大を目的に、安来農林振興協議会、やすぎ直売部会、やすぎ地区本部等が協力して開催しています。

フェアでは、消費者が加工品を試食して、食味や外観等で点数をつけて投票してもらう事で、消費者の率直な意見や感想をもらうことを目的に16品がエントリーしました。

消費者からは「見た目も味付けも良かった」など加工品それぞれに様々な感想をもらい、今後の加工品の改良等に参考になるフェアとなりました。



最優秀賞 永田瞳さん「いちごのチーズスフレ」 優秀賞 山根寛子さん「やみつき大根」

## 斐川

### 保育園で鬼退治

斐川地区本部では2月2日、管内の荏原保育園で行われた節分の豆まきに鬼に扮したJA職員が参加し、一年の無病息災を願いました。

園児たちは、突然大きな声を出して登場する鬼から大声で逃げ回り、先生に抱きついたり、大粒の涙を流したりと大騒ぎ。最初は逃げまわっていた園児たちも、勇気を出して「おには～そと」「ふくは～うち」と声を掛けながら豆をまき、元気いっぱい鬼を追い払うことができました。

この日は、東部保育園、あい川保育園で行われた豆まきにも、役に成り切った9人のJA職員が参加し、園児たちを驚かせていました。園児は「最初は怖かったけれど鬼を退治できてよかった」「力いっぱい豆を投げたよ」などと話しながら、伝統行事を楽しんでいました。

この取り組みは地域との交流を目的に今後も継続して行う予定です。



青鬼に変装したJA職員



鬼に怯える園児たち

## 隠岐 どうぜん

### 冬期農家座談会を開催

隠岐どうぜん地区本部は2月2日～16日、海士町役場地産地消課、NOSAI東部と共催し、海士支店管内の農家組合員を対象とした冬期農家座談会を開きました。

座談会では、島前地域農業再生協議会から30年度の米の生産数量分配と経営所得安定対策など、海士町役場から29年度中山間地域等直接支払制度・多面的機能支払交付金の進捗状況などの説明を行いました。また、NOSAI東部から農業共済の加入や31年度から導入される収入保険制度など、JAからは29年産米の収穫結果と30年産米品質向上にむけた取り組みなどの説明を行いました。

当日は、当JAが取り組んでいる「JA自己改革」について、新谷徳昭本部長からの趣旨説明やDVD視聴も行い、取り組み内容とその意義等について理解を深めていただきました。

今後もJAに対する意見・要望などを踏まえて「地域に不可欠な組織」となるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。



## 石見銀山

### 石見銀山西条柿組合設立

大田市西条柿生産組合と温泉津町西条柿生産組合がこのたび統合し、石見銀山西条柿生産組合として誕生しました。同組合は2月15日、大田市農林福祉会館で、「石見銀山西条柿生産組合設立総会」を開き、発起人の石橋幸人新組合長の挨拶のもと、組合の設立を出席者と祝いました。

同組合の設立は、平成29年から話し合いを重ね実現。組合員の高齢化、担い手不足などの問題の打開策として統合による西条柿の生産量、販売量増加を狙います。

今後は、「品質の良い美味しい西条柿づくり」をスローガンに先進地視察や栽培研修会を開き、石見銀山西条柿の品質向上を目指します。生産目標は、青秀以上を7割の秀品率、3L以上を5割の大玉率、1000\*以上反収を目指し、出荷目標は60t、販売金額2100万円以上を目指します。



設立を喜ぶ石見銀山西条柿生産組合一同

## 出雲

### 自己改革の実現に向けて准組合員と交流 JAしまね出雲地区本部の9会場

出雲地区本部では2月から3月にかけて、9会場で「准組合員の集い」を開催しています。自己改革の一環で実施するもので、JAが地域農業の応援団と位置づける准組合員の皆様への情報発信と意見交換により、地域におけるJAの役割について理解を求めます。2月16日には第1回として今市支店、出雲支店が合同開催し、約20人が参加しました。

当日は、同地区本部の飯國荘一理事のあいさつに続いてJA紹介のDVDを上映。DVDは同地区本部で作成したもので、営農・購買・金融・共済など多岐にわたる事業や地域貢献への取り組みをPRしました。その後JA職員による相続講座、健康体操を実施。意見交換の場も設けました。講座、レクリエーションなどは、准組合員の皆様とのつながり強化を目的に会場ごとに企画します。

同地区本部は、1月には管内の認定農業者・認定新規就農者との交流会も開催。自己改革の実現に向け、直接意見や要望を聞く機会を増やしています。



あいさつをする飯國理事

## 西いわみ

### JA女子大生がヨガを習う

JA女子大学西いわみ校は2月6日、益田市駅前町の西いわみ地区本部で第2回のカリキュラムとなるヨガ教室を行いました。益田市で活躍しているヨガインストラクターの吉賀梨紗先生を講師として招き、「初心者でもできるリラックスヨガ」をテーマにヨガの手ほどきを教えていただきました。

「痛いことをしない」「他の人と比べず自分と向き合う」「呼吸をすることを忘れない」の3つのポイントをもとに、腹式呼吸と胸式呼吸の違いや肩甲骨のストレッチに効果がある「ワシのポーズ」などを教わりました。

参加した女子大生は「痛いけど気持ちいい」「ヨガをすることで体が温まった。家でもやってみたい」と感想を話しました。次回は4月に「ブチ野菜のプランター栽培講習会」を開催予定です。



## 本店

### 食料・農林漁業・環境シンポジウムを開催

JAしまねなど県内の28機関・団体が構成する食料・農林漁業・環境を考える島根県民フォーラムは2月10日、松江市のくにびきメッセで食料・農林漁業・環境シンポジウムを開き、県内各地から約120人が参加しました。14回目となる今回は、中山間地域の活性化と「小さな拠点づくり」をテーマに、講演やパネルディスカッションを通して集落の持続可能性について考えました。

講演では島根大学教育学部の作野広和教授が、中山間地域で集落生活圏を維持するための生活サービス機能の集約・確保と、集落生活圏内外との交通ネットワーク化（小さな拠点づくり）の必要性を訴えました。

パネルディスカッションでは、波多コミュニティ協議会・山中満寿夫会長、NPO法人別府安心ネット・樋ヶ昭義理事長、ときめきの里真砂・大庭完会長がパネリストとして参加。コーディネーターに島根大学の平塚貴彦名誉教授、アドバイザーに作野教授を迎え、パネリストの活動状況を報告するとともに、様々な意見を交わしました。



パネルディスカッションで意見を交わすパネリストら

## 島根おおち

### 積雪に伴う農業被害対策はじまる

島根おおち地区本部管内では、1月に発生した降雪は平年の8倍を超えており、農業用ハウスが倒壊するなど甚大な被害が発生しました。全半壊したハウスは80棟以上あり、管内の邑南町と美郷町内で被害が出ています。被害を受け、当地区本部では、早期の施設復旧に向けた取り組みを行なうための「雪害対策会議」を開催しました。

会議では、再建への基礎資料として「再建に向けた意向調査」を実施し、具体的な対策の立案に向け、関係機関と連携し取り組むことを話し合いました。ただ、今回の雪はとてども多く、撤去支援と再建に時間がかかることが予測されます。早期の再建築意向等を確認し、安全に作業開始できる所から始めなければならない状況となっています。



支援内容は以下のとおりです。

#### 【支援内容】

- (1)倒壊ハウスの撤去作業（解体および搬出）支援事業
  - ①撤去作業（解体・搬出）作業支援
  - ②JA職員等による解体・撤去作業支援
- (2)ハウスの再建支援事業
- (3)実施期間
  - ①倒壊ハウスの撤去作業支援  
平成30年2月26日～3月31日まで
  - ②ハウスの再建支援  
平成30年2月26日～9月30日まで

## いわみ中央

### 組合長が農家訪問

いわみ中央地区本部では2月2日、JAしまね農業振興支援事業を利用し事業拡大をした農家をJAしまね竹下正幸組合長が訪問しました。

浜田市弥栄町で繁殖和牛経営に取り組む佐々木祥二さんは、「しまね和牛増頭支援」等の事業を利用して、繁殖牛雌の頭数拡大を実現しました。佐々木さんは「素牛価格が高い中で、JAの事業を利用し増頭することができた。今後もJAの事業を利用したい。地域に和牛繁殖経営の仲間がいないので、JAも仲間づくりに関与して欲しい」と語りました。

また、先月の大雪でビニールハウス堆肥舎が倒壊した様子を視察した竹下組合長は、「今後の災害復旧も併せて県や市の支援も受けながらJAとしても対応して行きたい」と励ましました。



近況について意見を交わす竹下組合長(左)と佐々木さん



倒壊したビニールハウス

## 感謝の気持ちを！

### フラワーバレンタイン

やすぎ花卉部会は2月14日、安来市中海町にあるなかうみ菜彩館と同市飯島町にあるグリーンセンターはしま店で、フラワーバレンタインイベントを開催しました。外国では、バレンタインデーに男性から女性へ花を贈る風習があり、これにちなんで花卉部会から来客者の皆様に日頃の感謝を「やすぎの花」で伝えようと企画しました。

なかうみ菜彩館では今年度新たな取り組みで、部会員が女性客へ安来産の花を使用したブーケ60点をプレゼントし、「やすぎの花」をPRしました。また、はしま店では部会員自ら心を込めて作成したアレンジメントを15点販売しました。

イベントに訪れたお客様は「お花を改めてもらうと恥ずかしいけど、嬉しい気持ちになりますね」と話されました。

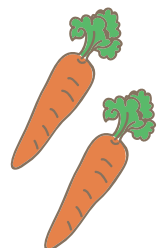
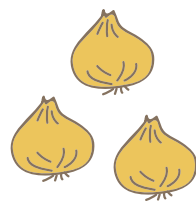
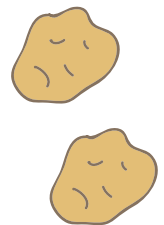


## 楽しく親子で カレークッキング

安来市安来町にあるやすぎ保育園は2月3日、親子でカレーを作るイベントを行いました。同イベントは4月より小学校に入学される年長さんを対象に親子での思い出を作ってもらおうと毎年行われています。JAしまねやすぎ地区本部も食農教育の一環として地元安来産食材や金芽米の提供、ご飯を食べる大切さを伝えるため紙芝居などを行い協力しています。

今回は11組の親子が参加し、親子で協力しながら野菜の皮を剥いたり切ったりしました。またカレーの中に入れる食材はグループごとに自由に選べるため、相談しながらそれぞれ違ったカレーをつくり、みんなで食べ比べをして盛り上がりました。

参加者は「他のグループのカレーも美味しかった」、「初めて子どもとこういったイベントに参加したので、良い思い出になりました」と話されました。





## 交流給食でふれあい

安来市立荒島小学校は1月30日に、給食の食材を生産されている農家の方々と給食を食べる交流給食を行いました。

同校は毎年、学校給食週間の時期に給食の食材を提供されている農家の方々を招き、農家さんとクラスの全員と一緒に給食を食べながらお話や質問をしてふれあう交流給食を行っています。学童は「1日にどれくらい水をやっていますか?」、「給食の野菜を作るきっかけは何ですか?」など普段はなかなか聞けないようなことを質問して農家の方々との交流を深めました。

また、今年の4月から同校の学校給食は給食センターに移る予定で、今回の交流給食が最後になるかもしれないため、交流給食を終えた農家の方々は「子供達とお話するのは楽しい。これが最後になるかもと思うと少しさびしい」と話されました。



## 家の光料理倶楽部

家の光料理倶楽部が2月28日に飯梨交流センターで行われました。この倶楽部は雑誌「家の光」に掲載されているレシピを参考に、栄養士の飯塚生美子先生が考案されたオリジナルのレシピを、部員の皆さんで作る倶楽部です。

今回は家の光4月号を参考に小松菜チャーハンなど5品を作り、部員は「毎回初めて作るメニューで楽しみに料理教室に出かけております。今回も春らしいメニューで頑張って作りました」と感想を話されました。



### MENU

小松菜チャーハン  
鮭と野菜のトマト煮込み  
ごほうのおつまみスティック  
とろ〜り餅シチュー  
いちごのタルト風ヨーグルトケーキ

## 家の光介護予防講座

J Aしまねやすぎ地区本部は2月9日、10名の参加をいただき赤江交流センターで今年度11回目の家の光介護予防講座を行いました。

J A島根厚生連の保健師の指導を受け、参加者はマナ・フラ・フットセラピー（フラダンス）を習いました。今回の講座では腰や手足を同時に動かすことに苦戦しましたが、音楽に合わせて踊ることで楽しくダンスを行いました。感想では「フラダンスは難しかったですが、楽しかったです」と話されました。

また、講座の終わりには家の光を使って今年度した事を振り返りながら皆さん楽しくお話をされました。



# 福祉課だより

## 認知症について理解を深めよう！

長寿社会にあって、平均寿命と健康寿命の意味が問われる昨今……。

介護認定を受ける人、とくに認知症の方の増大が憂慮される時代であり、一人ひとりが予防に努めることが大切です。

認知症は脳が縮む病気で、進行すると理解力や判断力がなくなり、社会生活や日常生活に支障をきたす状態になり、長寿社会において誰にでも起こり得る身近な病気ですが、まだまだ理解されていない病気といえます。

3月1日、上荒島公会堂でなごやかクラブのみなさんとともに、認知症について理解を深めようと勉強会を行いました。

### お問い合わせ

JAしまね やすぎ福祉サービスセンター  
TEL：23-8230 FAX：23-8231



認知症の知識と対応について学ぶ



みんなで知的活動を楽しむ



## 女子大レポート

ヨガ&ペルヴィス講座

講師

小泉 雅子氏



今回の女子大は米子市南部町にある総合福祉センター「しあわせ」で講師もされている小泉雅子氏を招き、ヨガを通してペルヴィス（骨盤）を調整しからだを整える講座を開催しました。はじめにヨガの呼吸方を学び、心とからだを繋げる事を意識してヨガを行いました。最後には部屋を暗くして瞑想にふけ、皆さんリラックスされました。小泉氏は「はじめての方でも簡単なポーズが多くありますので、家でも試して下さい」と話されました。

### 学生感想

- ◆寒くて硬くなったからだがあほぐれて気持ち良かったです。家でもやってみたいと思います。
- ◆とにかくからだ硬くてヨガは不向きだと思ってましたが、自分でも出来る事があり感動しました。



食べなみでござい！  
やすぎのカロエ品

安来の特産を使って作られた加工品を紹介します！

今回は春を感じる食材の1つである筍を紹介し  
ます。安来の特産である筍を今回は面  
倒なくあく抜き不要で、主婦に優しい水煮で  
のご提供しております。やわらかさの中に歯ご  
たえもある食感に仕上げました。ぜひ“春の  
味わい”をご賞味下さい。

販売者：JAしまねやすぎ地区本部  
問い合わせ：生産流通課（電話：0854-28-7800）

筍の水煮



160g  
310円(税込み)

各グリーンセンター・なかうみ菜彩館でお求めいただけます♪

安来の元気な子ども達を紹介します！

未来の  
主役  
たち

ようすけ  
大西陽介くん(11さい)  
かな  
環奈ちゃん(9さい)



MIRAI  
KIOS

とってもおしゃべりな陽介くんは、4月  
から小学6年生になる男の子。妹が困っ  
ている時はさりげなく助けてくれる優しいお  
兄ちゃんです。また、去年の10月にアル  
テピアで行われた安来市連合音楽会でピア  
ノの伴奏をしたんだって。そんな陽介くん  
の将来の夢はお医者さんになって自分の医  
院を開業することみたい。

負けず嫌いな性格の環奈ちゃんは、4月  
から小学4年生になる女の子。体育が大好き  
で縄跳びの3重跳びができて、英検3級  
も持っているんだって。また、最近は髪型  
の研究をしてオシャレの勉強中。そんな環  
奈ちゃんの将来の夢は薬剤師で、陽介くん  
が開業した医院の隣で薬局を開くことなん  
だって。

兄妹一緒に卓球やピアノ、習字などの習  
い事をしていて、とっても息がピッタリな  
仲良し兄妹でした。

～お父さんお母さんより～

「毎日いろんなネタでケンカして呆れて笑  
わせてくれる兄妹ですが、兄は常に妹を気  
に掛け、妹は母のように兄の世話を焼いて  
います。今のままでいいよ。仲良くケンカ  
しながら助け合って大きくなってね。」

# 3月の一番商品



【対象期間】平成30年4月末まで

**野菜・畑作の石灰肥料**

**粒状**

**三木Gスーパ**

**2号**

**野菜の石灰肥料として!**

- ①「石灰・苦土」「各種ミネラル」「有機物」を一度に施用できるので省力・低コスト!
- ②各種ミネラルを豊富に含有し、地力を高めて要素欠乏症を軽減させます。
- ③味の向上のために苦土含量を高くし、また根の活性のために腐植酸をプラスしました。

基肥と同時施用ができます

成分表 (%)

成分	有機物 (含腐植酸)	アルカリ分	石灰	＜溶性 苦土	＜溶性 りん酸	＜溶性 加里	可溶性 けい酸	酸化鉄	＜溶性 マンガン	＜溶性 ほう素	モリブデン
保証成分		48.0		7.0							
含有成分	12.0	48.0	35.0	7.0	1.0	0.5	15.0	10.0	1.5	0.1	微量

容量  
15  
kg



10a当り 基準施用量  
100kg～ 推奨

家庭菜園に  
最適!

### 施用量と施用方法

1坪 (3.3㎡) 当たり約 1 kg 施用  
(200ccカップ約4杯分)  
植付けの前に土全体に混和して下さい

※他の石灰肥料と併用する必要は  
ありません

**超特価価格**  
**620円**

(税込価格)

通常価格

**798円**

(税込価格)



お問い合わせ・お申し込みは、

やすぎ地区本部各支店 または 営農経済部 資材課(TEL: 28-7800)まで

# 自動車共済ご契約者の皆様へのお知らせ

平素は、J A共済事業につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、自動車事故における対応につきまして、ご契約者の皆様へのより一層の対応力の強化と損害調査業務の専門性の強化を図るため、平成30年4月よりJ AとJ A共済連の機能分担を一部変更させていただきますのでお知らせいたします。



## 【万一、交通事故に遭われた場合】

交通事故受付手続き・日中現場急行対応は変わりません。

連絡先窓口は基本的に今までと変わりません。最寄りのJ Aしまねやすぎ地区本部共済担当部署にご連絡いただくか、夜間・休日であればJ A共済事故受付センターまでご連絡いただければ、担当者が対応させていただきます。

—ご連絡先—

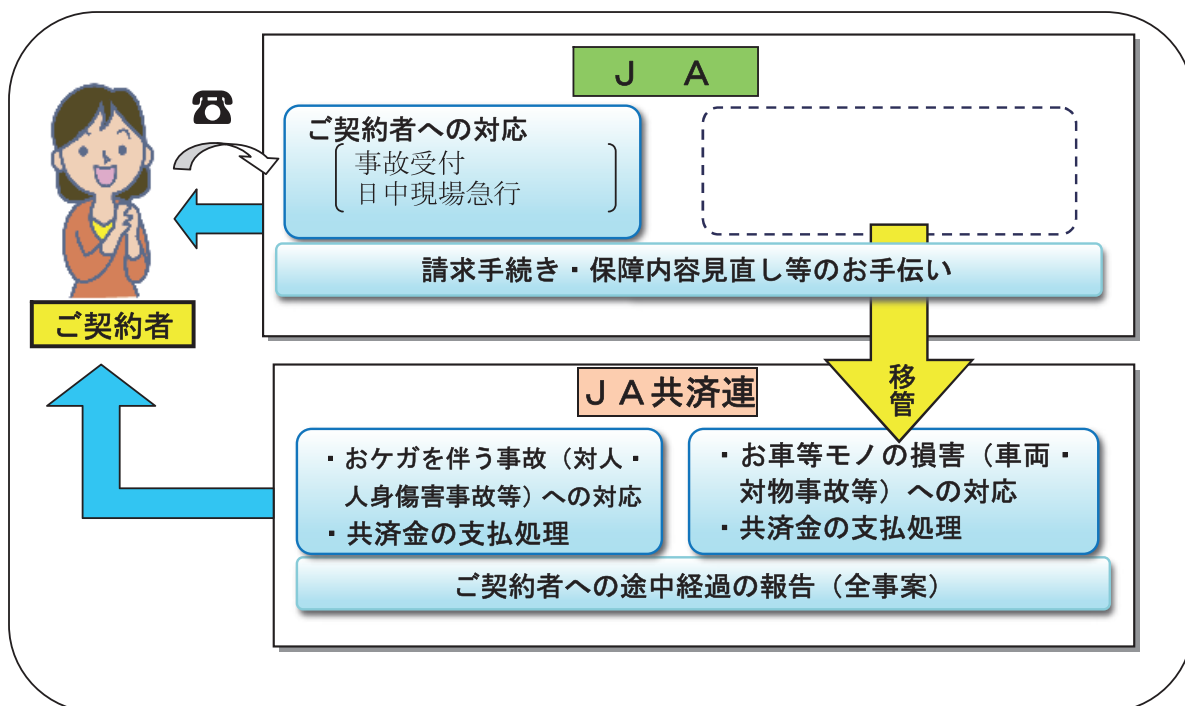
やすぎ地区本部共済課  
(自動車事故相談)  
TEL 0854-22-3769  
JA 共済事故受付センター  
TEL 0120-258-931

## 【主な変更内容】

相手方との交渉や共済金のお支払いについては、車両・対物事故等もあわせて今後はJ A共済連の損害調査サービスセンター（S C）の担当者が行います。交渉経過の報告や共済金のお支払いについてもS C担当者から直接ご契約者の皆様へ連絡させていただきます。

J AしまねならびにJ A共済連は、今まで以上に高品質なサービスの提供に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 【変更のイメージ】（平成30年4月～）



◎異動（平成30年3月1日付）（ ）内は旧部署

▼企画総務部長兼福祉課長・中尾武（信用共済部長）▼金融共済部長・国須敏裕（赤江支店長）▼赤江支店長・中村章美（安来南支店信用課長）▼米飯加工センター所長・新田徹（総務部長）▼金融共済部次長兼融資課長・清水英彦（本店営業部長）▼本店金融部統括課長・金井快文（信用共済部融資課長）▼金融共済部資金課長・荒井美華（信用共済部資金課）▼金融共済部安来市役所出張所所長・富田守（信用共済部共済課係長）▼営農経済部生産流通課長・加藤進（赤江支店経済課長兼営農経済渉外）▼営農経済部直売店舗課長・三島明夫（営農経済部米穀課長）▼営農経済部米穀課長・西村雅晴（営農経済部直売店舗課長）▼営農経済部精米センター所長・三島裕（営農経済部生産流通課長）▼赤江支店経済課長兼営農経済渉外・加藤正直（営農経済部精米センター所長）▼安来東支店経済課長兼営農経済渉外・古曳博（安来南支店経済課長兼営農経済渉外）▼安来南支店信用課長・沢田るり子（信用共済部資金課長）▼安来南支店経済課長兼営農経済渉外・実重賢一（安来東支店経済課長兼営農経済渉外）▼営農経済部精米センター・井塚千晴（総務部総務課付け）▼赤江支店信用課信用共済複合渉外・矢田康二（安来南支店信用課）▼広瀬支店信用課信用共済複合渉外・清山宏（広瀬支店信用課信用渉外）▼本店監査部・坂田学（広瀬支店信用課共済渉外）▼本店総務部ふれあい福祉課・熱田由香（総務部総合企画課）▼企画総務部総合企画課・宇山敦子（安来南支店信用課信用渉外）▼金融共済部資金課係長・山崎祐樹（本店共済部共済管理課）▼金融共済部共済課係長・宇佐美三友季（赤江支店信用課共済渉外）▼金融共済部共済課係長・原大成（信用共済部共済課自動車事故相談センター）▼金融共済部共済課・原田大輔（伯太支店信用課地域渉外）▼金融共済部付け・藤原有香（営農経済部農業振興課）▼営農経済部資材課係長・原尚史（広瀬支店経済課営農経済渉外）▼営農経済部直売店舗課・梶原学斗（営農経済部資材課）▼営農経済部農業機械課・青砥諒（営農経済部直売店舗課）▼赤江支店信用課・菅原敏哉（総務部企画管理課）▼赤江支店信用課共済渉外・安部由香里（赤江支店信用課）▼赤江支店信用課共済渉外・上原悠輔（伯太支店赤屋店）▼赤江支店信用課信用共済複合渉外・永田嘉博（赤江支店信用課地域渉外）▼安来東支店信用課共済渉外・吉岡小織（安来東支店信用課地域渉外）▼安来東支店信用課信用共済複合渉外・岩田章吾（広瀬支店信用課）▼安来東支店信用課信用共済複合渉外・野口公子（安来東支店信用課信用渉外）▼安来南支店信用課係長・天根皓通（伯太支店信用課共済渉外）▼安来南支店信用課信用共済複合渉外・渡邊綾子（信用共済部資金課）▼安来南支店信用課信用共済複合渉外・永田佳恵（赤江支店信用課）▼伯太支店信用課共済渉外・金山和輝（安来東支店信用課共済渉外）▼伯太支店信用課信用共済複合渉外・安藤宏和（伯太支店信用課信用渉外）▼伯太支店信用課信用共済複合渉外・遠藤なつ美（赤江支店信用課地域渉外）▼広瀬支店信用課・増田憲司（赤江支店信用課共済渉外）▼広瀬支店信用課共済渉外・横山翔（広瀬支店信用課地域渉外）▼広瀬支店信用課信用共済複合渉外・渡部健（広瀬支店信用課地域渉外）▼広瀬支店信用課信用共済複合渉外・廣江美由貴（赤江支店信用課信用渉外）▼広瀬支店経済課営農経済渉外・中村翔（営農経済部畜産課）▼企画総務部企画管理課リスク対応担当・永谷千秋（定年再雇用）▼企画総務部企画管理課・安井智子（信用共済部共済課）▼金融共済部資金課・遠藤ひとみ（信用共済部安来市役所出張所所長）▼営農経済部自動車課・田中雅男（定年再雇用）▼赤江支店信用課・西田朋子（安来東支店信用課）▼安来東支店信用課・池田いつ香（伯太支店信用課）▼伯太支店赤屋店・藤原和子（安来南支店信用課地域渉外）▼サンコープ雲南出向・須山孝志（定年再雇用）

◎新規採用（平成30年2月8日付）

▼営農経済部畜産課肥育センター・須山亮輝

◎退職（平成29年2月28日付）

▼永谷千秋（定年退職）▼須山孝志（定年退職）▼田中雅男（定年退職）  
▼村本彩▼増岡実▼岩崎紀子▼北川豊明



田中  
雅男

この度、2月末を以って定年退職いたしました。在職中は公私ともに心温まるご指導とご厚情を賜り、誠にありがとうございました。ここに謹んで厚くお礼申し上げます。地域の皆様のご健勝とJAしまねの益々のご発展を心からお祈りいたします。



須山  
孝志

この度、2月末を以って定年退職いたしました。在職中は公私ともに温かいご指導とご厚情を賜り、誠にありがとうございました。職務を通じてたくさん学ばせていただいたことに深く感謝し、ここに謹んで厚くお礼申し上げます。地域の皆様のご健勝とJAしまねの益々のご発展を心からお祈りいたします。



永谷  
千秋

この度、2月末を以って定年退職いたしました。在職中は公私ともに心温まるご指導とご厚情を賜り、誠にありがとうございました。ここに謹んで厚くお礼申し上げます。地域の皆様のご健勝とご活躍ならびに、JAしまねの益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

定年退職ご挨拶

## 部署名の変更等に伴うお知らせ

平素よりJAしまねやすぎ地区本部をご利用いただき誠にありがとうございます。  
さて、3月1日より弊組織では部署名の変更、業務包括したことを下記のとおりお知らせ致します。

### 部署名の変更のお知らせ

総務部 → 企画総務部  
信用共済部 → 金融共済部

### 業務の包括のご案内

コールセンターを廃止し総務課に業務包括する  
ローンセンターを廃止し融資課に業務を包括する  
年金相談センターを廃止し資金課に業務を包括する  
自動車事故相談センターを廃止し共済課に業務を包括する

### 4月の外務日は

**18日(水)・19日(木)**

担当職員がお伺いします。

### 税務相談会日程

- 広瀬支店 3月19日(月)10時～12時
- 安来東支店 4月6日(金)10時～12時
- 伯太支店 4月6日(金)13時30分～15時30分
- 広瀬支店 4月20日(金)10時～12時

### 年金相談会日程

#### ● 4月22日(日) 9:00～14:00 (伯太支店)

事前にお電話にて相談時間のご予約をお勧めします。  
最寄りの支店または資金課(22-3752)までお問い合わせください。

以下のものをご持参いただければ、詳しいご相談ができます。

- ねんきん定期便 ● 年金手帳及び年金番号通知書(ご本人・配偶者)
- 年金証書(ご本人・配偶者) ● 年金請求書 ● 認印 ● 年金加入記録のお知らせ等



## 市況動向

島根中央子牛市場  
(単位:円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	586,170	815,400	759,060	701,313	714,623
	頭数	4	1	6	11	80
	最高価格	773,280	815,400	962,280	962,280	1,011,960
又キ	平均価格	829,008	-	812,052	820,530	821,224
	頭数	10	0	10	20	140
	最高価格	1,055,160	0	943,920	1,055,160	1,055,160
総平均価格	759,626	815,400	792,180	778,227	782,460	
合計頭数	14	1	16	31	220	

### 2月子牛市場県外移出頭数

	長野県	滋賀県	兵庫県	山口県	岐阜県	佐賀県	三重県	その他	合計	県外移出率
雌	8	7	4	0	5	5	7	12	48	53.33%
去	8	7	10	11	4	4	0	8	52	37.14%
合計	16	14	14	11	9	9	7	20	100	43.48%

### 肥育センターA5評価牛(2月出荷分)

血統	種別	枝重	格付	BMS
勝照茂-千宝-藤桜	去勢	470.4kg	A5	8

### 相場下落に伴い“弱含み”傾向

平成30年2月の全国主要子牛平均価格(全農・畜産生産部2月16日現在速報)は雌721千円(前月比98%)、去勢836千円(前月比99%)、計787千円(前月比99%)と全国平均では“弱含み”の取引きとなっています。

本県2月の子牛市場は中央市場のみの開設で230頭の上場があり、平均価格は、雌714,623円(前回比100%)、去勢821,224円(前回比98%)、総平均782,460円(前回比101%)で“もちあい”の取引きとなりました。

今月上場牛は発育・体積の良好なものが多くみられましたが、発育の劣るもの、肋張りの弱いものが見受けられ、ややバラツキがありました。

例年2月は子牛市場開設数が少ないことから、年末出荷用の仕入れも始まって来ることから強含みになる素牛相場ですが、今年は年明けからの枝肉相場下落に伴い素牛相場も弱含み傾向となっています。



# ジャガイモ

## 萌芽後の上手な管理

板木技術士事務所 ● 板木利隆

ジャガイモの芋は塊茎といわれることから分かるように、種芋から地上に向かって伸びた茎から横向きに何本も発生した地下茎の先端が膨らんで形成されるものです。

種芋には芽が数個以上あるので、全部伸ばすと、土中で込み合い、芋になる茎が多過ぎて大きな芋が付かなくなってしまいます。芽が地上に出てきたら、勢いの良い2本だけを残して他の芽は取り除きます。実際の作業は、残す芽の周りの地面を指先で押さえ動かさないよう注意して横方向にかき取るか、はさみを少し土に差し込んで切り取ります。

ただし、寒気が去り難く、強い晩霜がありそうなときは、芽かきを遅らせ、あえて込み合わせるようにし、危険がなくなってから芽かきをするようにしましょう。そうすると多くの芽が寄り添い、葉が重なっているので、下の方の芽は寒害を受けず全滅を免がれるからです。

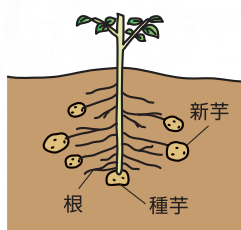
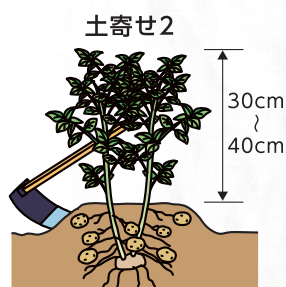
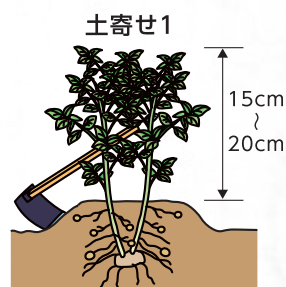
新芋は地表近くに付き、肥大してくるので、種芋から上の土が少ないと芋は十分に肥大せず、地表に現れ緑化する物も出てきますので、株元に土寄せをしてやる必要があります。この土寄せは、あまり早い時期に行くと地温の上昇を妨げるので、芽が15~20cmの高さに伸びてからにし、1回の量はせいぜい6~7cmぐらいとし、2回に分けて行います。

土寄せをする前に、株の周りに化成肥料と油かすを1株当たり各大さじ1杯ほどばらまき、土と混ぜるようにしながら株先へ土を寄せます。

気温が上がり地上部が旺盛に伸びる頃になると病害虫が

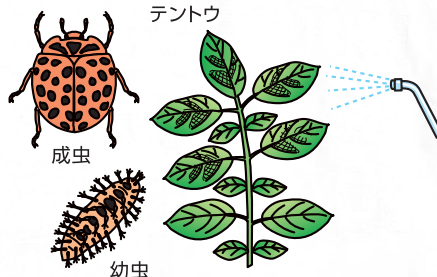
発生し始めます。特に葉に湿った黒褐色の斑点が入る疫病は大敵、これはトマトにも伝染するので、早めに薬剤を散布して防ぎましょう。害虫ではテントウムシダマシ（オオニジュウヤホシテントウ）が発生し、成虫、幼虫共に葉の裏側から葉脈を残して食害するので、葉を網目状にしてしまいます。放置しておくと近くナスなどにも被害が及びますので、早めに適応薬剤を散布して防ぎましょう。

芋を掘り上げてみたら表面があばた状になっていることがあります。これはそうか病の被害です。乾燥した場合、特に畑が酸性気味の場合に発生しやすいので、来年は過剰な石灰は施さないようにしましょう。



### 病害虫駆除

オオニジュウヤホシテントウ



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



## タテのカギ



- ① 稲の種をまいて育てる場所
- ④ ミツバやパクチーは——科の植物です
- ⑥ 進物に付けます
- ⑦ 煮ても生でもおろしてもおいしい野菜
- ⑨ 寒冷の反対語
- ⑩ この箱の——は何か当ててみて!
- ⑫ 給与から税金や社会保険料などを引いた残り
- ⑭ 日本で作った物のこと
- ⑯ 床の間に飾る物の一つ
- ⑰ かまぼこの土台になります
- ⑱ ——は身を助ける
- ⑲ 工事が終わって建築物が出来上がること

## ヨコのカギ



- ① 春の野に咲く黄色い花
- ② タカに似た大きな鳥
- ③ 『考える人』を作った彫刻家
- ④ 試合中のボクサーに指示を出したり手当てをしたり
- ⑤ 肥料の三要素は窒素、——酸、カリウムです
- ⑧ 足の速い人のこと。神様の名前です
- ⑨ 神社や寺で引きます
- ⑪ went は go の——です
- ⑬ 映像が——的に見える3D映画
- ⑮ 春の山を薄いピンク色に染める花
- ⑯ 光が当たると反対側にできま
- ⑰ 旧国名の一つ。現在の三重県の大部分

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	6		10		16	18
		C				
2			11	14		B
			9			
3	7			15		19
			8	12		
4					17	
		D				
5			13			A

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒692-0014 安来市飯島町1205-1  
JAしまね やすぎ地区本部 総務課「クイズ」係  
平成30年4月5日(木)(当日消印有効)

## ◆先月号の答え◆ 「ネコヤナギ」

1	5	9	13	17	21	25
ヒ	ナ	ニ	ン	ギ	ヨ	ウ
	カ	ユ		ム	ギ	
2	ト	ビ	ウ	オ	リ	ス
	ウ		シ	ヤ	ク	イ
3	ジ	ヨ		コ	ン	バ
		ネ	ジ		セ	ン
4	ハ	ツ	カ	ダ	イ	コ

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

## 旬の食材を食べよう!

春は「キャベツ」や「あさり」など、旬の食材が多い季節。最近では年中みかける食材も多くありますが、やはり旬の食材は何か一味違う。なんて思いませんか?そこで、旬の食材の良いところをお知らせします!

**【その1】**旬とは野菜にとつて「最も生育条件が揃った環境で育てられ、最も成熟している時期」。そんな旬の時期に収穫した野菜は香りやうまみが豊富なので、味が濃く感じられます。そのため、少ない調味料でもおいしく味わうことができ、塩分や糖分などのとりすぎを抑えるのに役立ちます。

**【その2】**味もさることながら、栄養分も最も高い状態にあるのです。例えば、冬が旬のホウレン草の場合、冬季の低温の中でじっくりと太陽光線を浴びて、地道に光合成を行っています。そうすることで、じわじわと良質な栄養分を蓄えているのです。旬のホウレン草とそうでない季節外れのホウレン草の栄養価を比較すると、2倍(それ以上の違いがあると言われています)。

**【その3】**旬は私たちの体に必要な物を季節ごとに与えてくれます。例えば春には、運動量や汗をかく頻度が比較的低い冬の間にたまった老廃物を排出するためにも苦いものを食べるとよいとされています。春野菜に特有の苦み成分には植物性アルカロイドという活性酸素を排除する働きがあり、老廃物を体外に排出するのを助けたり、肝臓の機能を高めて解毒作用や代謝機能を高めたりすると言われています。「ふきのとう」や「ウド」などの食材が旬を迎え、私たちはこれらの野菜をとっても美味しいと感じます。それは「ふきのとう」や「ウド」などが、春を迎えた私たちの体が必要としているからです。だからこそ、私たちはより美味しいと感じるのです。ただし、これらは多量に摂取するとお腹を壊すことがあるので、上手に食事に取り入れましょう。

**【その4】**旬の時期にはたくさん収穫され市場に出回る量が増えるため、お求めやすい価格になります。家計を預かる主婦には気になるポイントの1つです。よね。

こんなに良いところ尽くめの旬の食材を食べないのはいけません!ぜひ、旬を意識して、食材選びをしてみてください。

## 第60回記念 全国家の光大会

# 家の光記事活用体験発表で**最優秀賞を受賞!**

2月14日から15日の2日間、神奈川県横浜市で第60回記念全国家の光大会が開催され、島根県からJA役職員や女性部員など80人が参加しました。

家の光記事活用体験発表では、出雲女性部塩冶支部の飯國恵美子さんが島根県代表として発表しました。飯國さんは、自身が座長をされている劇団「えんまん座」の活動について発表。14日の予選を通過し、15日の本選に出場しました。本選でも、『家の光』の記事を参考にした演目づくりや、地域や女性部の活性化の取り組みについて堂々とした態度で発表され、見事に最優秀賞を受賞されました。記事活用の部で最優秀賞を受賞したのは、島根県では初めての快挙となりました。



表彰状を持つ飯國さん



竹下正幸組合長（中央）、石川寿樹本部長（中央左）、飯國さん（中央右）、出雲地区本部職員と出雲女性部の皆さん

## 理事会情報（1月30日開催）

### 協議事項

- ① 1月10日～12日の大雪に伴う農業被害状況報告と農業振興支援事業「農業災害復興対策支援事業」の実施および要領の一部改正について
- ② 生産資材にかかる全農移管事業の整理について
- ③ 島根県農業協同組合の今後の農機事業について
- ④ FinTech企業等との連携及び協働に係る方針の決定について
- ⑤ 大口貸出金の承認について
- ⑥ 「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」の決定について
- ⑦ 平成29年度仮決算監事監査報告書整備改善を要する事項（個別意見書）への回答について
- ⑧ 平成30年度本店損益配賦基準について
- ⑨ 子会社管理規程の一部改正について
- ⑩ 平成30年3月1日付け機構改革の実施について
- ⑪ 土地の処分について
- ⑫ 自動車運行管理規程の一部改正について

### 報告事項

- ① 県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告について（第3四半期）
  - ② 「アグリミートینگ2017 inくまびきメッセ」「大産直市」の実績について
  - ③ 日EU・EPA、TPP11による島根県の農林水産物の生産額への影響について（島根県発表）
  - ④ 米穀園芸情勢について
  - ⑤ 畜産情勢について
  - ⑥ 平成29年度第3四半期における余裕金の運用状況について
  - ⑦ 組合と理事との取引（契約）の報告について
  - ⑧ 給油カード不正利用にかかる再発防止策について
  - ⑨ 平成29年度第3四半期決算（12月末）報告について
  - ⑩ 固定資産の取得について
  - ⑪ （有）JAいずも生花センター生花事業のJAへの譲渡について
  - ⑫ 特別損失にかかる会計処理について
  - ⑬ 購買システム整備の方針整理にかかるコンサル導入の検討について
  - ⑭ 平成29年度12月末組合員の加入及び脱退の状況について
  - ⑮ 平成29年度賦課金徴収状況について（第2回報告）
  - ⑯ 平成29年度島根県JA職員資格認証試験結果について
- その他① 農政をめぐる情勢について  
 その他② 青年・女性理事活動報告等

# JAグループが行う 胸部CT検診 のご紹介

## ●日本人のがん死亡原因の第1位は「肺がん」です

肺がんは「たばこを吸う人の病気」というイメージが強く、実際に肺がんの原因としてはっきりしているのは喫煙ですが、喫煙以外の習慣や受動喫煙、環境との因果関係もあり、たばこを吸ったことがない人でも十分に注意する必要があります。

### ■がん死亡部位別割合（2016年）

	1位	2位	3位
男性	肺	胃	大腸
女性	大腸	肺	膵臓

（国立がん研究センター がん登録・統計）

## ●CTで「肺がん」の早期発見を!

肺がんは、早期発見・早期治療をすることで“治る”確率が高くなると言われています。そこで「治るがん」を見つけるためにお勧めなのが、胸部CT検診です。



小さいがんを見つけることができるCT装置。

CT装置が大型車  
にのっています。



この「CT検診車」が皆様のお近くに伺います。JAグループの胸部CT検診を、ぜひ一度受けてみませんか。

## お申し込みはJAしまねのホームページから!!

<http://ja-shimane.jp/smartphone/>

インターネットで、

「JAしまね スマホ」を検索してください



## JAしまねのおすすめする格安スマホ(OCNモバイルONE)は各社シェアパックよりお得です!

【例】1家族4人でシェアパックを利用した場合の比較  
大手キャリアの場合

10GBシェアパック	9,500円
5分かけ放題プラン	1,700円×4台=6,800円
シェアオプション	500円×3台=1,500円
インターネット接続サービス料	300円×4台=1,200円
合計	19,000円

- 1台あたりの月額料金：4,750円
- 1人あたりの通信容量：2.5GB
- 通話無料時間：5分

### 格安スマホOCNモバイルONEの場合

3GB	1,800円×4台=7,200円
OCNでんわ 10分かけ放題	850円×4台=3,400円
合計	10,600円

- 1台あたりの月額料金：2,650円
- 1人あたりの通信容量：3GB
- 通話無料時間：10分

電話料金が  
毎月

**8,400円**

も節約できます

## しかも通信容量・無料通話時間ともにOCNモバイルONEがお得です!!

ご質問  
お問合せ

・生活事業部 店舗生活課  
☎0853-25-8907

・やすぎ地区本部 生活燃料課  
☎0854-28-7200

・隠岐どうぜん地区本部 経済部  
☎08514-7-8005

・斐川地区本部 生活部 生活課  
☎0853-73-9622

・島根おち地区本部  
生活部 総合生活課  
☎0855-95-3601

・西いわみ地区本部  
営農経済部 経済課  
☎0856-23-0933



・くまびき地区本部  
生活福祉部 生活総合課  
☎0852-55-3040

・隠岐地区本部 経済部  
☎08512-2-1133

・出雲地区本部  
ラビタ本店ベスト電器  
☎0853-21-6058

・石見銀山地区本部  
生活典礼課  
☎0854-84-9071

・いわみ中央地区本部  
営農経済部 経済企画課  
生活課  
☎0855-22-8823

・有限会社 サンコープ雲南  
生活課  
☎0854-45-3336

タラの芽の肉巻き



春先しか食べられないタラの芽、ほろ苦い味とお肉の味がマッチして何個でも食べられます。必ずさつと下ゆでしてください。

●材料（2人分）

- タラの芽…………… 1パック
- 豚肉…………… 200g
- 砂糖…………… 小さじ1
- しょうゆ…………… 大さじ1
- サラダ油…………… 少々



●作り方

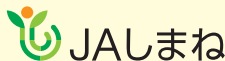
- ①たらの芽はがくをとり、水に10分ほどさらしたあと、塩を入れた熱湯でさつと茹で、冷水にとり水気を切っておく。
- ②薄切り肉（ロース、バラ、しゃぶしゃぶ用どれでも可）を広げて塩、こしょうをし、1のたらの芽をきつく巻く。
- ③フライパンにサラダ油をひき、2を巻き終わりを下にして並べ入れ、まんべんなく焼く。
- ④砂糖、しょうゆを入れ肉に味をからめる。

JAしまねのキャッシュカード・通帳をご利用の**70歳以上**の組合員・利用者の皆さまへ

**ATM利用限度額変更のお知らせ**

JAしまねでは、島根県警からの要請等を受け特殊詐欺の被害を未然に防止するため、**下表のとおり、一部の組合員・利用者の方についてATMでの利用限度額を引き下げ**させていただきます。組合員・利用者の皆様の大切な貯金を犯罪から守り、安心してお取引いただくための対応となりますので、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

対象	<b>70歳以上</b> の組合員・利用者の方で、 <b>過去1年間</b> の1日あたりのATM取引（お引出し・お振込み） <b>ご利用額が30万円以下</b> の方 ※キャッシュカードをお持ちのお客様が対象となります。 ※すでにATM利用限度額変更を行われている方は対象となりません。
変更内容	キャッシュカード・通帳による <b>1日あたりのATM取引（お引出し・お振込み）のご利用限度額を30万円に引き下げ</b> させていただきます。
実施日	<b>平成30年4月27日</b> から実施いたします。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>30万円超のお取り引きを希望される場合は</b>、キャッシュカード発行の支店窓口にご相談ください。</li> <li>・特殊詐欺被害未然防止のため、<b>使用されないキャッシュカードがお手元にありますら回収させていただきます</b>ので、キャッシュカード発行の支店窓口にご相談ください。</li> <li>・振り込め詐欺や還付金詐欺等には、十分ご注意ください。</li> </ul>



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は、世界遺産「石見銀山遺跡」にある「清水谷精錬所跡と梅の花」です。同製錬所は、明治27年に建設を開始し、20万円の巨費を投じて翌年に完成。4月から操業を開始しましたが、鉱石の品質が予想より悪かったことなどから不採算となり、明治29年10月、開始からわずか1年半で操業を停止しました。現在は梅の木が植えられ、春には苔むした石垣と梅の花のコントラストが楽しめます。

編集後記

3月1日付の人事異動で担当が変わることとなりました。平成27年3月の創刊号以来3年にわたり広報誌の作成に携わらせていただき、貴重な経験となりました。担当は変わりますが、引き続きご愛読いただきますようお願いいたします。（藤）

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

